

# こまつしまブランド戦略推進協議会・ 小松島市生物多様性農業推進協議会 からのお知らせ

こまつしまブランド戦略推進協議会と小松島市生物多様性農業推進協議会が連携し、5月7日(土)、8日(日)に大阪の難波で催された第6回大阪産直市に出店し、小松島の特産品を販売し、PR活動を行いました。

当イベントでちりめん、干しエビなど小松島の特産品を販売し、7日(土)に訪れた大阪市の平松市長にも農薬や化学肥料を使用していない小松島産のお米をPRしました。



こまつしまブランド戦略推進協議会は小松島市、小松島漁業協同組合、和田島漁業協同組合、東とくしま農業協同組合で構成されています。今回のイベントでは小松島と和田島の両漁協職員も参加し、PR活動を行いました。

本協議会では今回のイベントの他にも東京、大阪、徳島県内などのイベントでもPR活動を行っています。PR活動の他にも小松島の農林水産物等のブランド化とその浸透を推進するために事業の企画・運営、その具体策の検討などを協議しています。



# 小松島市生物多様性農業推進協議会 からのお知らせ

小松島市生物多様性農業推進協議会では、小松島市内の農家の方を対象に随時会員を募集しています。

また、協議会では、会員の方を対象に各種事業と補助を行っています。

生物多様性農業とは、生物多様性保全の視点を取り入れた環境に配慮した農業のことです。例えば、田んぼでは、アメンボ、イトミミズ、ヤゴ、カエル、オタマジャクシなどの様々な生き物が暮らしており、それらの生き物は互いに絡み合って生きています。昔の農作物は、化学肥料、化学合成農薬を必要とせず栽培されていました。それは土

の中のミミズなどの微生物が、堆肥等を分解することで必要な栄養を生み出し、またミジンコ・オタマジャクシなどが土を掘り返し根に酸素を供給し、カエルなどの生き物が害虫を駆除していたおかげでもあります。農作物にとって、生き物たちが存在することで、そういった有益な面があったのです。

前述の農法が生物多様性農業であり、現在全国的にも広がりをみせています。そのような中、市では平成22年3月に東とくしま農業協同組合や関連企業などと共同で、生物多様性保全の視点をとり入れた地域の保全再生、有機農業など環境に配慮した農業振興を目的とした協議会を設立しました。協議会では、生物多様性を守る農業を営むことを推進し、消費者に安全で安心な農作物を提供するため、環境や生物に配慮した農業に取り組んでいますので、興味のある方はご連絡ください。

お問い合わせは、小松島市生物多様性農業推進協議会事務局(市産業振興課内) ☎32・3809)まで。

